



気候変動緩和に向けた温室効果ガスおよび大気質関連物質の監視に関する総合的研究

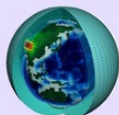


Comprehensive Study and Monitoring of Long-lived Greenhouse Gases and Short-lived Climate Forcers toward Mitigation of Climate Change

観測とモデルによる包括的な監視

テーマ2「予測モデルおよび逆推定モデルを用いた全球規模での主要3種GHGに関する吸収・排出量の研究」

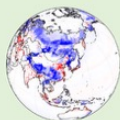
テーマリーダー：羽島知洋 (JAMSTEC)



- 地球システムモデルの検証
- 文科省・先端プログラムとの連携
- 吸収源強化を想定した将来予測

テーマ3「吸収源を含む地表GHGおよび関連物質収支のボトムアップ評価に関する研究」

テーマリーダー：伊藤昭彦 (東京大学)



- 森林吸収源・AFOLUセクター
- 衛星データを用いた迅速把握
- モデルと排出インベントリ検証
- 土壌CH₄吸収の把握とガイドライン

テーマ1「観測に基づくGHGおよび関連物質の地表面フラックス早期評価システムの構築」

テーマリーダー：丹羽洋介 (国環研)



- 高精度・高頻度観測
- 高分解能な大気逆推定モデル
- 排出インベントリの検証
- 統合フラックス評価システム

テーマ4「GHGおよび関連大気物質の監視データの環境対策・政策への効果的な反映に関する研究」

テーマリーダー：田邊清人 (IGES)



- GSTに関する情報収集
- 課題成果の報告書とりまとめ
- IPCCガイドラインへの貢献
- 民間・自治体ステークホルダー



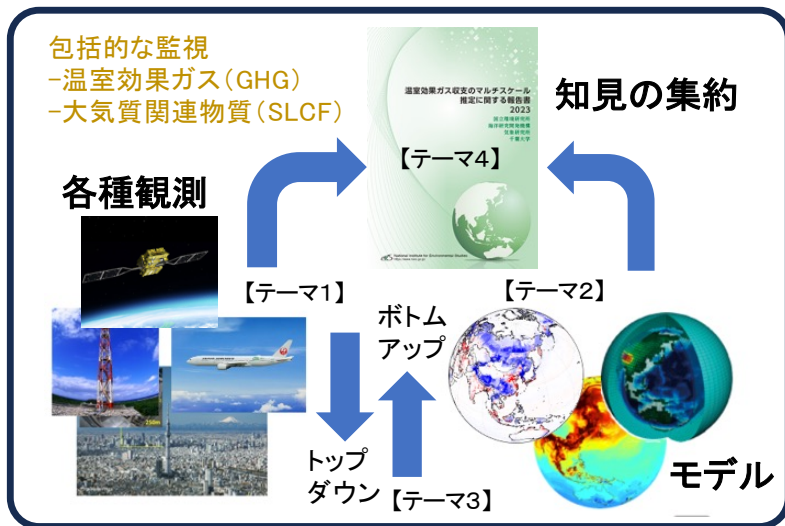
本ウェビナーのねらい



本プロジェクト



ホームページ

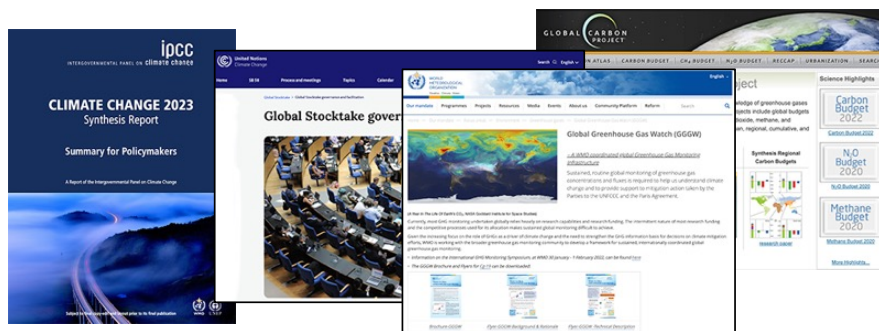


大気監視(科学)の視点で解説

最近の様々な出来事



環境政策(国際的)



紛争、ポストコロナ、など